

3. ハザードマップの内容

ため池ハザードマップについて

- **「防災重点ため池」**が決壊した場合に、被害が予想される範囲や避難場所を表示しています。
- 広島市では、広島県が公表する**「ため池浸水想定区域」**を基に、ハザードマップを順次作成しています。

防災重点ため池

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池のこと。

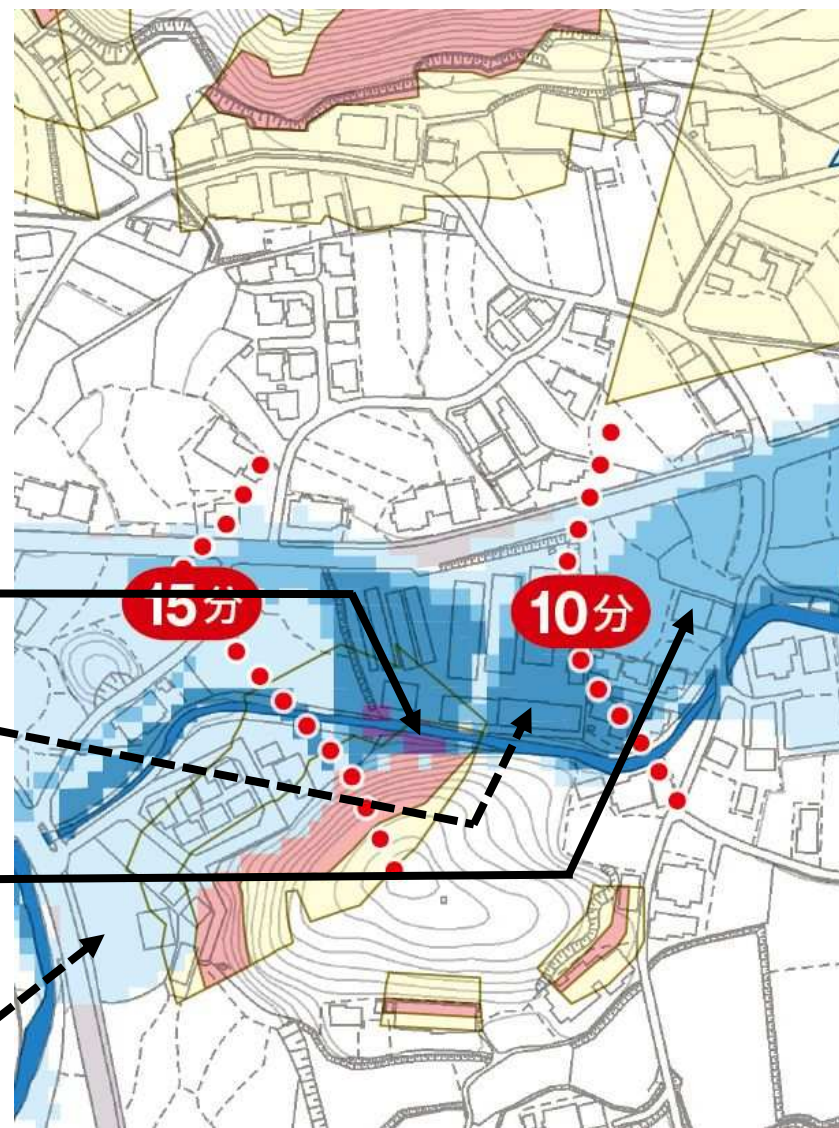
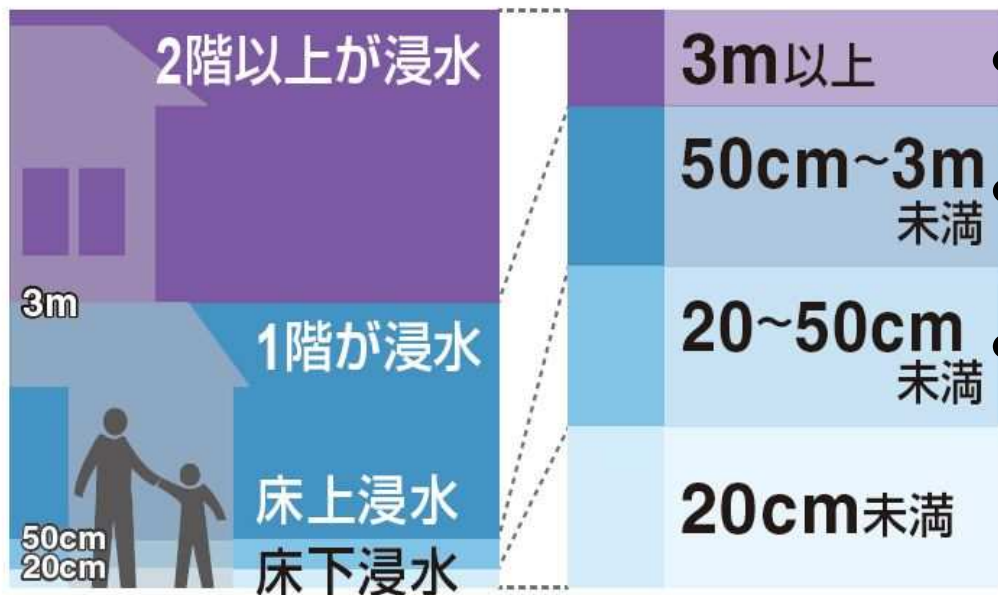
ため池浸水想定区域

大地震などによりため池が決壊した場合に想定される被害範囲を示したものの。広島県が順次作成しており、「広島県ため池マップ」で確認できます。<https://www2.wagmap.jp/pref-hiroshima/Portal>

ため池浸水想定区域

- 各地点において想定される最大の深さを4段階で表示しています。

浸水の深さ (広島県、平成28年度作成)

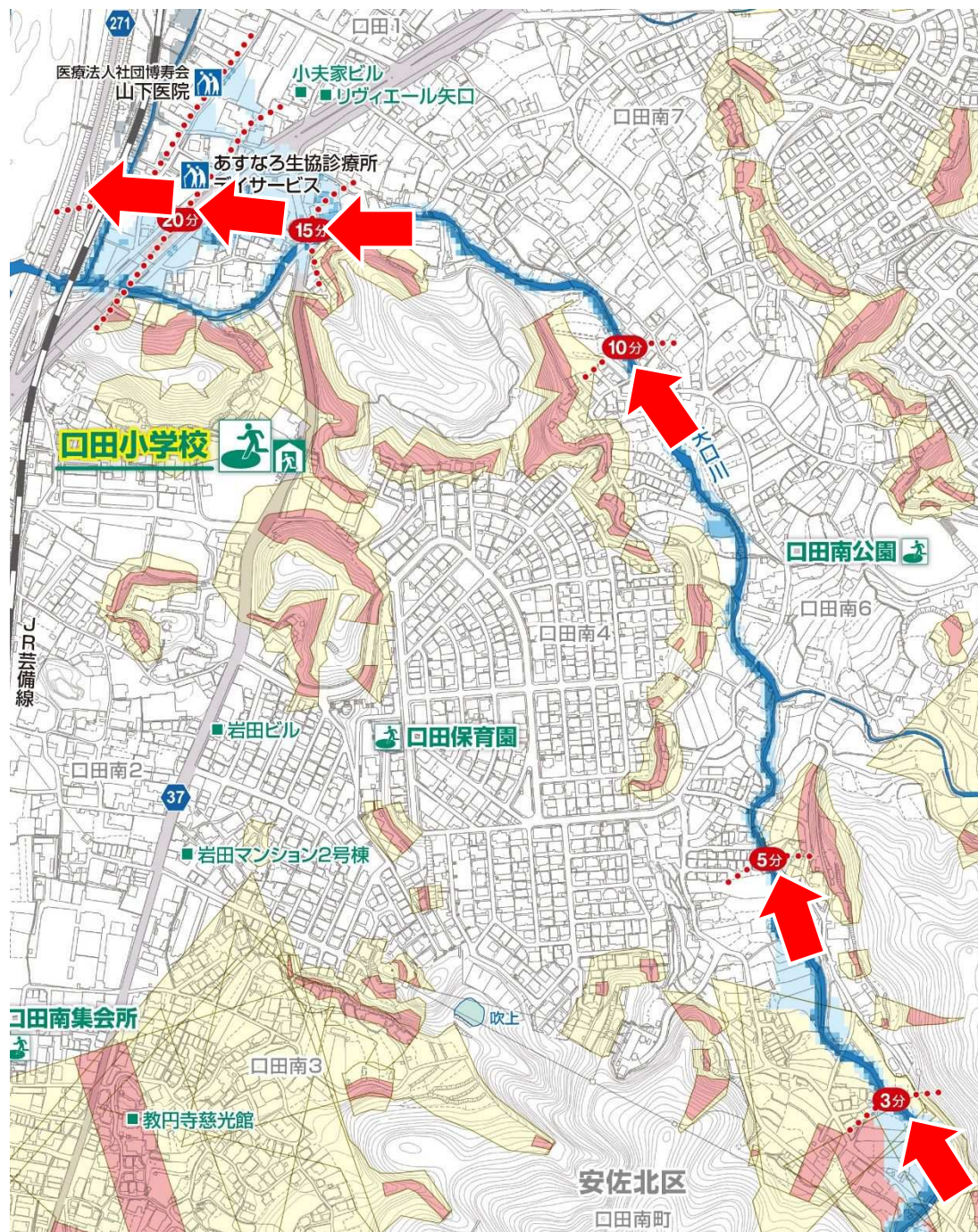


地図面
2

到達時間

- ため池決壊後の氾濫水の到達時間を表示しています。

●● 3分 ●● ため池決壊後の到達時間

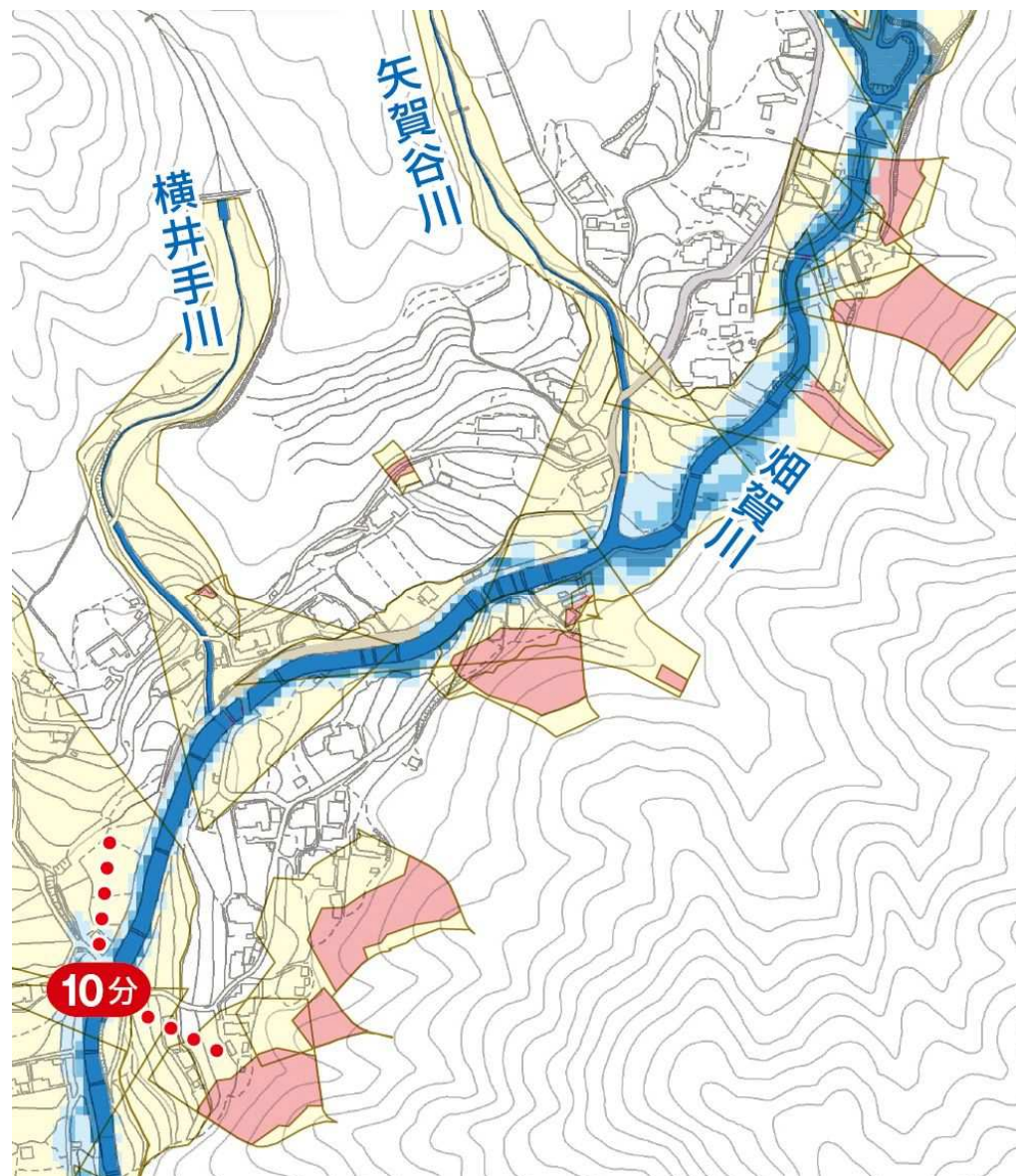
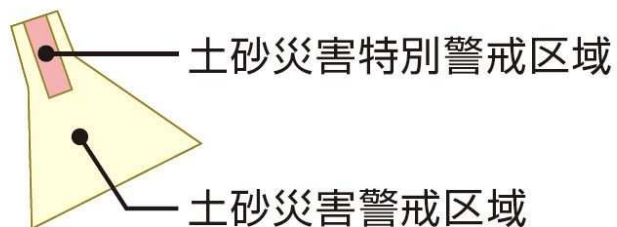


土砂災害

- 避難時の危険箇所として、**土砂災害警戒区域**を記載しています。
- ため池決壊と同時発生した場合には、表示している範囲以外でも浸水や土砂災害による被害が発生するおそれがあります。

土砂災害

(広島県、令和元年12月12日告示分まで)



指定緊急避難場所・指定避難所等

- 災害の種類（洪水・土砂災害・地震・津波・高潮）によって開設される指定緊急避難場所は異なります。
- 開設した場合は、広島市防災ポータル、市防災情報メールやテレビなどでお知らせします。



拠点的な指定緊急避難場所

各小学校区で最初に開設します。



指定緊急避難場所

切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための施設または場所です。



指定避難所

避難生活を送るための施設です。

福祉

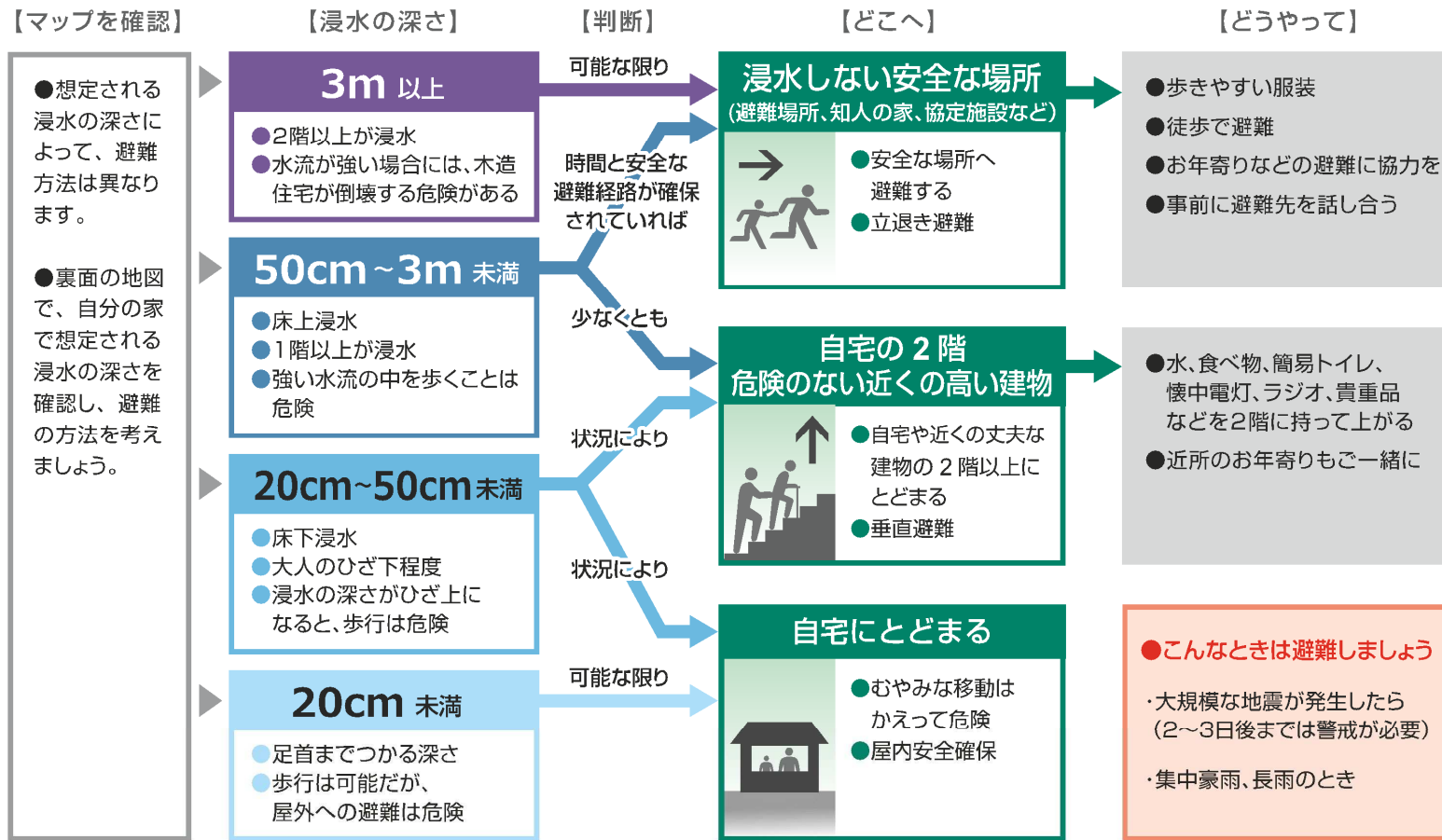
福祉避難所は必要に応じて開設します。

■ 浸水時緊急退避施設

津波や洪水、高潮等の際に、市が開設する指定緊急避難場所等への避難の途中で目前急迫の浸水危険にさらされた場合に、緊急一時的に退避するための施設です。

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

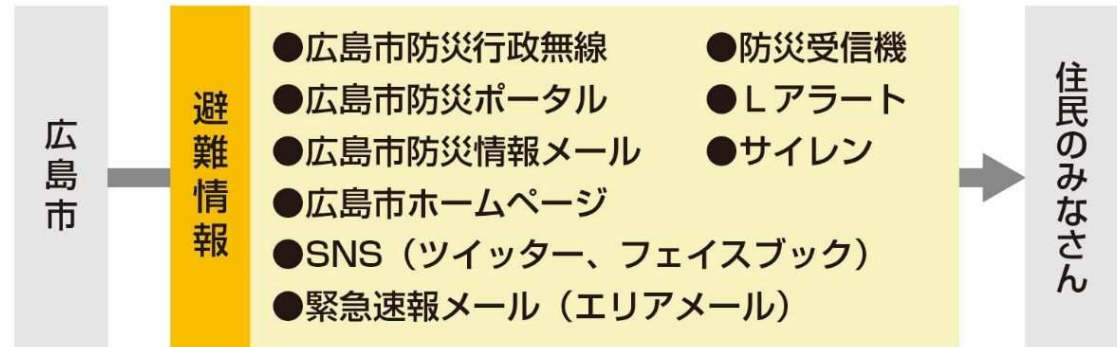
- 浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するか、家族や地域で話し合ひましょう。



正確な情報入手しよう

ため池決壊の危険性が高まったことによる避難情報の発令を行うことはありません。

但し、土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので避難開始の参考としてください。



危険度 高	警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	
	警戒レベル 4 危険な場所から 全員避難	速やかに危険な場所から、避難先へ避難しましょう。 指定緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	
	警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者など避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）と その支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	
	警戒レベル 2	ハザードマップで避難行動を確認しましょう。	※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表される とは限りません。状況が急変することもあります。 ※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難を してください。逃げ遅れによる被災が多くなっています。
	警戒レベル 1 低	災害への心構えを高めましょう。	

ため池ハザードマップの活用について

ハザードマップが配布されたら、みなさんにお願いしたいこと

- どのような災害が想定されているか
- どのような避難行動をとれば良いか
- どのタイミングで避難行動をとることが望ましいか

ハザードマップで、これらの情報を確認し、さらに…

実際に避難所まで
歩いてみる



地域の防災訓練に
参加する



ほかのハザードマップも
確認する

土砂災害
洪水、浸水（内水）
高潮、津波

